



▲移築された温故館を視察（文教社会常任委員会）

総務常任委員会

各委員会の活動状況

文教社会常任委員会

經濟建設常任委員會

新制度への移行までの間、円滑に運用されるよう広域連合などと連携を図り責務を果たしたいと説明がありました。

○質疑　文書管理システム導入の効果・成果と今後の課題は。

○答弁　文書の検索時間短縮や保管・保存文書の減量化が図られたほか、財務会計システムとの連携により決裁の効率化が図られました。

○質疑　23年度の時間外勤務手当の見込みは。

○答弁　対前年度比30%削減した22年度予算と同額を計上しました。

○質疑　文書管理システム導入の効果・成果と今後の課題は。

○答弁　文書の検索時間短縮や保管・保存文書の減量化が図られたほか、財務会計システムとの連携により決裁の効率化が図られました。

な質疑と答弁は次のとおりです。

○質疑　私設保育施設費の減額理由は。

○答弁　認定保育施設に予定していた園が不認定になつたことと見込みより児童数が減つたためです。

△平成22年度海老名市国民健康保険事業特別会計補正

今定例会で、経済建設常任委員会に付託され審査した案件は、海老名市公共下水道事業受益者分担金に関する条例の制定をはじめ23年度海老名市一般会計予算（所管部分）など議案5件です。

審査の結果は、それぞれ

▽海老名市非常勤特別職等の職員の報酬及び費用弁償

今定例会で、総務常任委員会に付託され審査した案件は、海老名市非常勤特別職等の職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正をはじめ23年度海老名市一般会計予算（所管部分）など議案4件です。審査の結果は、それぞれ可決すべきものと決定しました。審査の内容などは次のとおり

総務常任委員会に
に関する条例の一部改正
審査の主な質疑と答弁

審査の主な質疑と答弁は次のとおりです。

た。現在円滑に運用していますが、電子と紙の両方メリットを融合させながらいかに紙を削減させていくかが今後の課題です。

予算（第3号）
収納率向上に努めながら
特定健診の推進など医療費
抑制にも取り組んでほしい
などの意見がありました。

▽海老名市公共下水道事業
受益者分担金に関する条例

可決すべきものと決定しました。審査の内容などはこのとおりです。

○答弁 事業内容に変更があり、負担割合が下がったためです。

○答弁 運動公園内の仮設馬場、各種イベントや保育園などへの出張展示公開を検討しています。

特別委員会 活動レポート

他の自治体で取り組まれている先進事例を学ぶため、各特別委員会で行政視察を行いました。視察テーマは次のとあります。

○基地対策特別委員会

(平成22年10月6日～8日)

- 石川県小松市・小松基地との関わりと航空機騒音問題について、基地対策事業について
 - 岐阜県各務原市・岐阜基地の概要、岐阜基地との関わりと航空機騒音問題について
 - 静岡県浜松市・浜松基地の概要、浜松基地との関わりと基地航空機騒音問題について

○高速道・相模川対策特別委員会

(平成22年10月6日～8日)

- 高知県高知市・高知市における河川事業の現状と今後の取り組みについて
 - 徳島県貞光ゆうゆう館・河川敷を利用した道の駅の現状について
 - 四国横断自動車道・鳴門ジャンクション、姫田Aランプ橋の整備状況について

○まちづくり対策特別委員会

(平成22年10月13日～15日)

- ・北海道北広島市‥北広島駅東地区土地区画整理事業について
 - ・北海道登別市‥登別市市民活動センターの施設及び活動状況について、登別市民プールについて
 - ・北海道帯広市‥帯広駅周辺土地区画整理事業について、を中心街地活性化について、とかちプラザについて